

# 二次製品耐震性貯水槽

日本消防設備安全センター認定製品

## 施行状況

1. 空練モルタル敷設状況



2. 集水ピット緊結状況



3. 部材据付状況



4. 緊張状況



5. グラウト注入状況



6. 据付完了



7. 止水作業状況



8. 止水完了



9. 完了



### 施工に関する注意事項

1. 基礎の地耐力

	D40-I-A-1.0	D40-I-A-1.5	D40-II-A-1.0	D40-I-B-1.0	D40-I-B-1.5	D40-II-B-1.0	20t(2.1×2.1)
土被り厚さ(m)	1.0	1.5	1.0	1.0	1.5	1.0	0.5
地盤耐力(t/㎡)	7.0	8.0	8.0	7.0	8.0	8.0	7.0

- 地盤耐力を満足しない場合は、地盤改良、杭基礎工法等の採用を検討して下さい。
- 2. 基礎コンクリートは製品据付け時に所定の強度を確保して下さい。
- 3. 埋戻しは、防水杖の所定養生期間を確保し水張り検査終了後に、偏荷重がかからないよう左右均等に行ってください。
- 4. 完成前の防火水槽上には重機の走行や槽上で作業しないで下さい。
- 5. 防火水槽の最小土被り厚さが20t及びA型では0.35m、B型では0.45mを満足しない時に、水槽に水がなくなった状態では地下水の高さにより水槽が浮き上がる場合があります。そのような状態が予測される場所では、浮き上がり対策を講じて下さい。